

○平成30年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

「いくぞ!いきもの調査隊!」(H30.9.1(土)~2(日))



コムケ湖は生き物の宝庫!コムケ湖畔に生息する野鳥や草花、昆虫などの生き物を観察して、調査しよう。あつまれ!生き物好き! 行くぞ!いきもの調査隊!

対象 小学4年生~6年生
 定員 20名(先着順)
 参加費 2,500円(食事代、材料費他)
 集合解散 紋別生涯学習センター 9月1日 8:30~受付 / 2日 12:00解散
 講師 大島百合子さん(コムケの会会長)
 宿泊場所 コムケ国際キャンプ場(テント泊) ※雨天時「三室番屋」宿泊
 活動内容 ①コムケ湖いきもの講座
 ②生き物を調べよう ~調査隊 出動!~
 ③星空天体観測
 ④わくわく♪テントで泊まろう
 ⑤生き物図鑑をつくろう ~調査結果報告~
※天候その他の条件により、一部プログラムの内容やスケジュール等を変更する場合があります。
 主催 紋別生涯学習センター
 北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会



申し込み
問い合わせ

紋別生涯学習センター
指定管理 公益財団法人オホーツク生活文化振興財団

〒094-0023 紋別市元紋別140-1
 TEL(0158)23-2474 FAX(0158)26-2322
 MIAL lila-c@monlla.or.jp

◆目的

地域の自然環境および野生生物を知り、興味を深め、自然の保全意識を高める。

◆参加実績(募集20名)

参加児童9名
 4年生7名
 5年生2名

町職員2名

道立青少年教育施設職員 1名

サポートスタッフ 2名

(ボランティアガイド1名、学芸員1名)

法人ボランティア 1名(小学校教諭)



◆プログラム

①テント設営(班別)・・・80分

施設で開会式やオリエンテーションを行ったあと、キャンプ場へ移動して、男子用2つ、女子用1つ、スタッフ用1つ、食事用の計5つテントを立てた。

②コムケ湖の自然についての調査体験・・・180分

湖周辺の自然ガイドの方の案内で、キャンプ場から湖のそばを通っている砂利道を往復3キロほどを歩きながら、草花の種類などについて、説明を受けた。花びらや葉の色や形などの特徴や、外来種の影響など、初めて知る内容に、驚いている子もいた。



③夕食づくり・・・150分

かまど担当と、食材担当に分かれて、班ごとに野外炊事を行った。燃えやすい薪の組み方などのアドバイスを受けながら、交代で火を燃やした。ハヤシライス炊飯には、ハイゼックス炊飯袋を利用し、災害時の炊飯方法の一つを実践した。

④天体観測・・・90分

道立オホーツク流氷科学センター職員による星空についてのレクチャーが行われ、北極星や北斗七星などの星座の見つけ方や、星の明るさについて学んだ。芝生に寝転んで、観測する方法なども紹介され、子どもたちは楽しみながら星空を眺めていた。

⑤コムケ湖の自然についての調査体験②・・・120分

前日にも通った、湖そばの道を歩き、戦前に漁師によって建てられた三室番屋の内部の見学や、番屋周辺の植物の観察を行った。自然環境を生かした地域産業である漁業について、詳しく知ることができた。

◆成果

① 異年齢での共同生活、新しいことにチャレンジする楽しさや、仲間と話し合い、協力することの大切さ、素晴らしさなどを学ぶ体験活動を展開することができた。また、地域の自然の魅力や、自然を生かした産業について知り、郷土を愛する気持ちを高められた。

② 町内にあった青少年教育施設に代わって開設された生涯学習センター主催の事業であり、今後の事業企画や運営の手法の一層の向上につなげる支援ができた。



◆参加者の声

□新しい花や初めて見つけた鳥がいた。花の特徴を見つけられるようになった。

□いろいろな花の発見があった。もっと、いろいろな体験をしたい。

□参加する前に比べて、みんなと協力できるようになった。色々な人と話せるようになったり、自分で考えるようになったりした。



◆事業運営のツボ・工夫・反省

・今回は、地域の自然環境について学ぶために、コムケ湖周辺の草花を観察して回ったが、フィールドワークに向かう前に予備学習を行い、観察のねらいや視点を持たせておくと、より主体的に観察を行えたのではないかと感じた。

・夕食作りでは、災害救助用炊飯袋を使用したのが、羽釜や飯盒を使った炊飯も体験させてみたい。

◆事業運営費	合計	31,488円	※北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会の負担分)
旅費・交通費		27,960円	
燃料費		3,528円	